

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月4日	
東京都知事 殿	
提出者	
住 所 東京都豊島区駒込1-8-11 トーコー駒込ビル 4階	
氏 名 東鉄工業株式会社 東京線路支店	
常務執行役員支店長・加藤 晃	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-5978-2811	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東鉄工業株式会社 東京線路支店
事業場の所在地	東京都豊島区駒込1-8-11 トーコー駒込ビル 4階
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高 8,682百万円
③従業員数	143人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	排出量	77.55 t	1.84 t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者へ処理の委託を促進して、産業廃棄物の再資源化に努めた。 ・建設金剛廃棄物については、集積箇所において分別を徹底して行い、再資源として活用を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	排出量	69.80 t	1.66 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への委託を推進し、再資源化を促進する。 ・再生品の活用においては、発注者側と意見交換をして利用を促進するように取り組みたい。 ・排出量については、前年度の90%を目標とする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・集積箇所における廃棄物の分別保管については、建設金剛廃棄物の抑制に取り組んでいる。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の分別保管については、産業廃棄物適正処理ガイドブック等の活用を継続して取り組んでゆく。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	112.84 t	3.40 t	2,565.06 t	118.53 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	101.56 t	3.06 t	2,308.55 t	106.68 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排 出 量	12,464.18 t	2.88 t	655.28 t	433.73 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排 出 量	11,217.76 t	2.59 t	589.75 t	390.36 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・実績はなし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・計画はなし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
（今後実施する予定の取組） ・計画はなし。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・実績はなし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・計画はなし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	全処理委託量	77.55 t	1.84 t
	優良認定処理業者への処理委託量	41.14 t	1.84 t
	再生利用業者への処理委託量	73.81 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	3.74 t	1.84 t
	（これまでに実施した取組） ・産廃エキスパートや産廃プロフェッショナルの評価・認定を受けている優良業者への委託を推進した。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	112.84 t	3.40 t	2,565.06 t	118.53 t
優良認定処理業者への処理委託量	112.84 t	3.40 t	849.50 t	85.90 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	1,793.24 t	92.63 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	112.84 t	3.40 t	771.82 t	25.90 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	12,464.18 t	2.88 t	655.28 t	433.73 t
優良認定処理業者への処理委託量	8,210.49 t	2.88 t	655.28 t	433.73 t
再生利用業者への処理委託量	9,461.11 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	3,003.07 t	2.88 t	655.28 t	433.73 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	全処理委託量	69.80 t	1.66 t
	優良認定処理業者への処理委託量	37.03 t	1.66 t
	再生利用業者への処理委託量	66.43 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	3.37 t	1.66 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も、産廃エキスパートや産廃プロフェッショナルの評価・認定を受けている優良業者への委託を推進する。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	101.56 t	3.06 t	2,308.55 t	106.68 t
優良認定処理業者への処理委託量	101.56 t	3.06 t	764.55 t	77.31 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	1,613.92 t	83.37 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	101.56 t	3.06 t	694.64 t	23.31 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	11,217.76 t	2.59 t	589.75 t	390.36 t
優良認定処理業者への処理委託量	7,389.44 t	2.59 t	589.75 t	390.36 t
再生利用業者への処理委託量	8,515.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	2,702.76 t	2.59 t	589.75 t	390.36 t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

- ・建設汚泥⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。
- ・廃プラスチック類⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。
- ・金属くず⇒再資源化を図れる産廃処理業者に委託する。
- ・コンクリート片（コンクリートマクヰキ等）、レンガ破片（道床ハフスト）⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。
- ・廃アスファルト⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。
- ・木くず⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。
- ・建設混合廃棄物⇒優良認定を受けている産廃処理業者に委託し、再資源化を促進する。

別添 2 管理体制図

